

CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	マンナ運輸株式会社京都第2センター	階数	地上2F
建設地	京都府久世郡久御山町	構造	S造
用途地域	工業地域、法22条地域	平均居住人員	XX 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	XXX 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2010年12月 予定	評価の実施日	2010年6月15日
敷地面積	8,886 m ²	作成者	鍛冶 勲
建築面積	1,434 m ²	確認日	
延床面積	2,619 m ²	確認者	〇〇〇



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★

2-2 大項目の評価(レーダーチャート)

2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8 **LR のスコア = 3.1**

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	工場等が建ち並ぶ工業専用地域にあり、倉庫(一部事務所)として一般的な仕様にて計画しました。	その他 注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
Q1 室内環境	窓からの日射はブラインドにより調整し、適量の採光にて照明設備の補助的に利用する。	Q3 室外環境(敷地内) 駐車スペースに15%程度の緑地(芝生)を設けて夏季の日射熱を緩和する。
LR1 エネルギー	各種電気の使用量を継続的に監視・検証して、無駄に使用するエネルギーの削減を行います。	LR3 敷地外環境 空調関係の室外機は建物上(庇上)に設置し、隣地への影響は極端に少ない。また敷地内では、出入りするトラックはアイドリングを停止して排出ガスを低減する。
Q2 サービス性能	事務所スペースにおいては、内部に柱を設けず、乾式の間仕切壁により、状況に応じて移動が可能である。休憩室を備えて、勤務者がリフレッシュできる。	
LR2 資源・マテリアル	特に内装部材に、エコマークを取得した商品(壁紙・ビニル床材)を使用します。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい